

### ハウスの蒸し込み・土壌の蒸気消毒

施設栽培で多発した場合は、雑草を含めた全ての株を抜き取り、ハウスを密閉し夏期では7日から10日程度、春や秋では2週間程度を目安として蒸し込みを行い、ミカンキイロアザミウマを死滅させる。また、土壌の蒸気消毒は土中の蛹を死滅させる効果が高い。

### (2) 薬剤防除

親株床では定期的に、本ぼでは生育初期に粒剤を株元散布し、ミカンキイロアザミウマの発生を防除する。

施設開口部付近のキクから発生しやすいので、葉での加害状況をよく観察する。また、花や葉を白い板の上で軽くたたいたり、青色粘着板をキクより少し高い位置に設置し、早期発見による早期防除に努める。

発生がみられた場合は、7～10日間隔で薬剤防除を行う。

### キクのミカンキイロアザミウマ及びアザミウマ類に登録のある農薬

系統名	薬剤名	希釈倍率等	使用時期 / 使用回数	適用害虫
ネコチナイト	モスピラン水溶剤	2,000倍	発生初期 / 5回以内	ミカンキイロアザミウマ
	ベストガード水溶剤	1,000倍	発生初期 / 4回以内	ミカンキイロアザミウマ
	ダントツ水溶剤	2,000倍	発生初期 / 4回以内	アザミウマ類
I G R	マッチ乳剤	1,000倍	発生初期 / 5回以内	ミカンキイロアザミウマ
フェルピラゾール	プリンスフロアブル	2,000倍	発生初期 / 5回以内	アザミウマ類
その他	アフーム乳剤	1,000～2,000倍	発生初期 / 5回以内	ミカンキイロアザミウマ
	コテツフロアブル	2,000倍	発生初期 / 2回以内	ミカンキイロアザミウマ
	スピノサート顆粒水和剤	5,000倍	発生初期 / 2回以内	ミカンキイロアザミウマ
	ハチハチ乳剤	1,000倍	発生初期 / 4回以内	アザミウマ類

注1) 薬剤抵抗性が発現しやすいのでローテーション散布を行って下さい。

注2) 花弁や葉の隙間に生息しているため、ていねいに薬剤散布して下さい。

注3) 農薬はラベルの表示を確認して正しく使用して下さい。

注4) 登録内容は平成19年9月13日現在のものです。

疑わしい症状を見つけた場合は、最寄りの農業振興事務所にご相談ください。

本資料に関する問い合わせ先：栃木県農業環境指導センター

TEL 028-626-3086 FAX 028-626-3012